



【心を一つに合わせた「卒業おめでとう集会」】

○ 3月3日（金）、朝、私が車から降りると、6、7人の子供が、遠くから私に挨拶してくれました。その後登校してくる子供も、普段以上の気持ちのよい挨拶をしました。

私は「今日の『卒業おめでとう集会』はきっとよい集会になる。」と感じました。



○ 2限目、集会が始まりました。どの学年も、これまでに作った物を渡したり、クイズ、ゲーム、ダンス等を披露したりしました。どの場面でも、6年生は笑顔、拍手など、嬉しそうに見ていました。私が感心したのは、全校の心が一つになっていたということです。例えば、全校で動くゲームではふざける子供はいなく、**ルールを守ってみんなで楽しもう**という姿が見られました。また、6年生に関わるクイズでは、在校生も参加し、答えが合うと、**学年関係なく、「イエー！」と手を挙げて喜ぶ姿**が見られました。まさに、全校で楽しんでいました。

○ 最後には、6年生が、「栄光の架橋」をお礼の歌として歌いました。体育館いっぱいに響きました。聴いていた在校生は、片手を上に挙げ、**6年生の歌に合わせて腕を左右に振り**、全校が一体化していました。6年生の中に、泣いている子供もいました。

○ 私は体育館を出るとき、5年生の子供たちに「**ありがとう。ありがとう。**」と言いました。企画、準備、他学年へのお知らせ、運営など、本当によくやってくれました。今の6年生も、昨年度の今、在校生のリーダーとなって一生懸命に活動しました。それが、**今年度の活躍につながったのは間違えありません**。同じように、今の5年生も今の活動が、**来年度に最高学年になったとき必ず生きます**。こんなすばらしい集会に触れ、私は涙が出そうになりました。子供たち、本当にありがとう。

